



志津南

7月号

news

志津南ホームページ
http://shizu373.net

志津南学区の人口 (5/31 現在)
世帯数 2,336 総人口 6,408 人
発行
志津南学区まちづくり協議会
Tel(fax) 077-563-6206
E-mail shizuminamimachi@gmail.com

10月に防災フェスティバル開催 初の学区全体体験型訓練



志津南学区まちづくり協議会(花澤仁左エ門会長)は10月20日(日)午後1時から、若草中央児童公園で志津南学区まちづくり協議会発足以来はじめての学区全体での防災訓練として、防災フェスティバルを開催します。

今までは各町内会(自治会)が避難所単位で訓練を行っていましたが、昨今のは天候不順で身近な集会所や会館で一時的に避難できる体制を整える必要があることから、草津市の「がんばる地域応援交付金」制度を活用して、6カ所の会館や集会所に停電時に備え発電機や照明器具などを配備することにしました。今までの訓練は主として自宅から避難場所までの要支援者を含む避難誘導でしたが、今回は避難場所での対応について子どもから大人まで防災意識の高揚を図ることを目的に、楽しく遊び心を変えて体験イベント型訓練として、次の内容を検討しています。



- ▽起震車地震体験
- ▽煙中体験
- ▽これも含む防災クイズ(○×クイズ)
- ▽消火器体験(的当てゲーム)
- ▽発電機や所有機器取り扱い訓練
- ▽避難時炊き出し試食会(お

地域ポイント制度に登録を

志津南学区まちづくり協議会では、草津市が実施する「草津市地域ポイント制度事業」に参加しています。平成30年度から二年間のモデルケースとして、草津市の7学区で実施されたこの事業、地域コミュニティの希薄化や地域活動の担い手不足、各種団体の役員の高齢化等の問題が進んでい

る中、これからの地域活動の担い手の創出に繋げ、地域主体の協働のまちづくりを進めたいと考えています。志津南学区では健康講座の企画運営、一斉清掃前の機械による事前清掃、夏まつりの企画運営を対象事業としています。平成30年度は32人が登録し、うち20人が総計110ポイント(1万1千円相当)を取得しました。まだ登録申請されていない方お待ちしております。詳しくは志津南まちづくりセンターまで。電話 (563) 62006



志津南学区では健康講座の企画運営、一斉清掃前の機械による事前清掃、夏まつりの企画運営を対象事業としています。平成30年度は32人が登録し、うち20人が総計110ポイント(1万1千円相当)を取得しました。まだ登録申請されていない方お待ちしております。詳しくは志津南まちづくりセンターまで。電話 (563) 62006

にぎり・豚汁・たこ焼き?)
▽消防車両展示、子ども防火服での撮影など

セキュリティ継続希望は24%

CATV告知放送の現状



若草地区限定のCATVセキュリティは設備の老朽化でメーカーの対応が困難な状況を理由に2022年3月をめぐりに廃止の方向で作業が進められています。ZTVのセキュリティ(告知放送含む)を解約するか、期間

参加申し込みは学校を通じて、または、町内会回覧でご案内する予定です。

ふれあい夏まつり オープニングは湖響太鼓



第22回志津南ふれあい夏まつり(同実行委員会主催)は7月27日(土)午後5時30分から若草中央児童公園を会場に開催されます。今年のオープニングは湖響太鼓さんの演奏です。湖響太鼓さんは、県内だけではなく、様々なところで演奏活動を繰り返しておられます。今年度の司会者は、若草町内の大鹿愛さんをお願いしています。6月末に学区内のチケット申し込みを締め切り、集計の結果、売り上げ上位

はフランクフルト、かき氷、焼きそばで、どれも1000食を超えました。近年自転車での来場が多くなっており、会場周辺が混雑します。今年も若草医療ビルのご協力をいただき、ビル横の駐車場を駐輪場としてお借りしていますので会場周辺に放置せず、所定の場所を利用してください。なお、当日は下記の通り無料送迎バスを運行します。多数の方々のご参加をお待ちしています。塩崎富子(夏まつり実行委員長)

往路	乗降場所	1	2	3	4		
	コージーガーデン(アネックス入口)	—	17:00	17:25	17:35		
	向山ニュータウン	—	17:05	17:30	17:40		
	かがやきの丘中央	17:00	17:10	17:35	17:45		
	丸尾	17:05	17:15	17:40	17:50		
	若草中央通り	17:10	17:20	17:45	17:55		
復路	乗場所	1	2	3	4	5	6
	若草中央通り	19:00	19:30	20:30	20:45	21:00	21:15

内継続するかの意向調査を担当者が各家庭を訪問して行っています。現時点での中間報告によりますと、若草地区全体で2022年3月まで継続する家庭は、24%にとどまっています。これを受けて30余年にわたり活用されてきた告知放送がその役割を終えようとしています。すでに各町内会ではこれに代わる手段を検討、実施しています。連絡網の整備は喫緊の課題となつていきます。

百匹以上のホタルに歓声



ホタルを見に伯母川に向かう参加者



前日の雨で開催が心配されましたが、曇り空ながら無事行うことが出来ました。

まず志津南まちづくりセンターで、「ホタルが光るのは結婚相手を探すため」「日本に住むホタルは50種類もいる」「ホタルは昆虫の中でもカブトムシと同じ仲間」などを学びました。

志津南学区地域協働校推進委員会(斎藤充浩委員長)が6月8日、恒例の「ホタルに会いに行こう」を開催、地域の小学生97人とその保護者など計約210人が参加しました。

「光った」「飛んだ」などと歓声が上がりました。中にはホタルを捕まえて「これは光る筋が一つしかないからメスだ」などと、先ほど教わった知識を披露する子もいました。

今年も百匹以上のホタルを見る事ができました。大人たちからも「この地域にもホタルが住むような自然が残っているんですね」など感慨深い声も聞かれ、ホタルが住むこの環境を守っていく大切さを改めて感じました。

安全確保へ通学路を整備



備」を行いました。参加者は志津南小学校PTA、かがやきの丘有志、追分南

志津南学区環境美化委員会(石田治郎委員長)は6月8日、初の学区事業として「かがやき通り通学路整備」の会員、総勢44人、「かが

ソフトバレーボール大会復活

志津南学区体育振興委員会(長谷川智貴委員長)は6月23日、志津南小学校体育館でソフトバレーボール大会を開催しました。写真。

ソフトバレーボール大会は、小学校区がまだ若草と岡本町だったころに開催されていました。今回、学区内の子どもや若者がスポーツに触れる機会を作ろうという想いのもと、ソフトバレーボール大会をもう一度



してみようかと企画しました。町内回覧のみの、いわゆる

「この指とまれ」方式にもかかわらず約20人の参加がありました。若者の参加もあり、迫力のある試合が繰り広げられました。チーム編成は、町内会・自治会を基本にしましたが、人数の都合上、混合チームになるところもありました。しかし、混合チームでも一致団結して、奮闘していました。

大会結果は、1位がコーシーガーデン自治会チーム、2位が若草一丁目・若草二丁目町内会合同チーム、3

やき通りの新幹線高架下から若草交差点一までの通学路の樹木の剪定、草刈作業清掃作業を午前9時から約2時間。汗だくになるも水分補給と休息に気を配り、熱中症に注意しながら無事に作業を完了しました。

元気に育て サツマイモ

志津南小学校の2年生が6月14日、校庭横の「志津南小地域ふれあい農園」に植えたサツマイモの苗の様



皆様ご苦労様でした。(石田治郎) 子を見に行きました。写真。5月〜6月にかけて好天続きたったことを心配したためです。サツマイモの苗が定着していることに安心したものの雑草も生えてきていたので、急遽、草引きをするようになりました。折よく緑化ボランティアさんも畑の様子を見に来ており、子どもたちと一緒に畑の整備をしてくださいました。近畿地方もやっと梅雨入りしたそうです。植物にとって、恵みの雨となることでしょう。

野草の味



スベリヒユ (スベリヒユ科)

畑の雑草で農家の人には嫌われる存在であるが、夏の園芸種マツバボタン、ポーチュラカは同じ仲間です。後者とは花がないと区別不能。又、野外で毒虫に刺されかゆいとき、葉の汁をつけると効果は抜群。

茹でてひたし物にすると、ぬめりがある。ちょっと酸味がある独特の味わいとなる。夏の食べられる野草の代表である。

(藤井崇弘)

試してみようかと思われる方は十分に安全を確かめてから実行して下さい

いざという時のために



当日は、草津市消防署、草津市消防団から6人の方に出張していただき、初期消火における消火器・消火栓の訓練と、救急訓練を指導してもらいました。

あいにく前日から雨の影響で中央公園の芝も湿りがち、また風も強く、コンディションは悪かったものの、61人の参加

若草三・四五丁目自主防災会は6月16日、若草中央公園で、合同自主防災訓練を実施しました。写真。

者熱心に指導員の話に耳を傾け、積極的に質問をされていた。防災に對しての関心の大きさを実感しました。

消火器の使い方では、それぞれ違ったシチュエーションでの正しい使い方、救急訓練では、参加者による心肺蘇生のための「胸骨圧迫」の実施と「AED」の使い方への指導を受けて、とても充実した訓練になりました。

災害はいつ起こるかかわかりません。今後機会があれば積極的に防災訓練に参加し、いざというとき、素早く適切な行動がとれるようにしたいと思ひます。



＜第4夜＞

三線にハマる

承前。三線の世界は古典と民謡とに大きく分かれています。それは、邦楽でいえば雅楽と今様、洋楽ならクラシックとジャズの違いといえるでしょうか。

師匠は民謡の方で、アラフォー女性です。週1回1時間半のお稽古はマンツーマン

ウーマンということもあって、緊張しながらも充実した時間を過ごしています。

三線は「歌三線」とも言われます。三線の譜面は「工十四（くんしんし）と漢字が並んでいきます。不思議なものですね。最初は戸惑い



自慢の三線を手にする筆者

若草でカラオケ同好会や歌声喫茶で鳴らしたノドが、三線に役立つのです。師匠

工四の譜面を見ると左手と右手が自然に反応するようになります。

見事にはまったのです。

（中原勝一）

湖北 観音の里を訪ね

多村典明



志津南学区社協ボランティアグループ（藤田清子代表）は5月31日、一人暮らしの方々を令和元年初のふれあいバスツアーを楽し

みました。写真。

新緑が眩しい季節、参加者35人は湖北・観音の里を訪ねました。

長浜市木之本の己高庵は山岳信仰の遺構が見られることで有名な己高山（こだかみやま）の麓にあり、一帯は湖北仏教文化のメッカとして知られています。己高庵で昼食後、樹齢三、四百年の木立の中に建つ文化財収蔵庫の宝物館「己高閣・

世代閣」で重要文化財、観音菩薩立像や小谷城、浅井長政氏の歴史を鑑賞。「滋賀県にこんなところがあったなんて」と感激の面持ちの皆さんでした。

戦国時代、集落の数ほどの観音様が鎮座した里一帯は人々の信仰心が厚く、争い時には観音様を地中に埋めたり川底に沈めたりして脈々と守り受け継がれてきた湖北仏教文化財の宝庫と知ることができました。

長浜市南浜の「産直びわみずべの里」で買い物を楽しみ、帰途につきました。

ふれあい広場再開



かがやきの丘ふれあい広場は活動の充実を図るため、新たに運営委員会（堂本直美代表）を設立し、6月27日に町内会館きらりで再開しました。写真。

皆の願いをかなえてくれるふれあいの木を育て始め、大ホールで遊んだ後、ビンゴゲームを楽しみました。

仲間と一緒に元気がいっぱい

追分南町内会「元氣くらぶ」は、地域の高齢者が親睦を深めながら、毎月色々な活動を楽しんでいます。



澤田誠一さんを迎え、演奏9曲、全員の合唱6曲、ア

5月22日にミュージックサロン「クラリネット」で歌おう！を開催しました。写真。

百歳体操終了後、2回目となるクラリネット奏者の



人。ボランティアの方々準備してもらった野菜、豚肉、イカ等を各テーブルでそれぞれの流儀で焼きました。特に男性チームのテーブルではあれが先、これが先、早い、遅いとわいわいがやがや、食べる前から盛り上がりつつありました。

用意した48袋を全員で完食する「恐るべき胃袋」。最後の締めにはアイスを食べ、楽しい一時を過ごしました。

生活習慣改善の大切さ学ぶ



だきました。

当日は、2つのテーマを設けました。

看護師さんより「生活習慣病について」、栄養士さんより「シニア世代の食事」に関する様々な知識を学びました。写真。

「生活習慣病について」では、偏った食事、運動不足、ストレスなど、長い間の生活習慣が原因となる病気で、

高血圧や糖尿病に繋がるリスクがあることを知り、生活習慣の改善の大切さを学びました。

やすらぎ学級第2回講座が6月26日に志津南まちづくりセンターで開催され、学級生29人が参加しました。「いきいきハート塾」と題し、講師には草津ハートセンターの皆さんに来ていた

低栄養にならないために、食べ方を工夫して少量でも

栄養が摂れるようにしたり、食べられない要因を確認し、悪循環が続く心身の衰えに繋がらないよう注意することを学びました。

高齢者は、脱水状態に陥りやすい傾向にあるので、適切な水分補給が大切です。実際に粉末タイプのところ

み調整食品をお茶に混ぜて、実演していただきました。この「とろみ」が、飲料の

誤嚥を防ぎ、飲みやすくさせます。

最後には、受講生からの積極的な質問もあり、「前々から聞いてみたいと思って

いた内容で、とても興味深い話だった」「今日学んだ事をこれからの生活に活かしたい」などの声を聞くことができました。

また、講座終了後には

すてきな川柳や願い事が書かれた短冊と涼しげな笹飾りを、空まで届きそうな大きな笹に学級生皆で仲良く飾り付けました。

今年度の学級テーマである「うるわしく、なごやかに」も実践出来ますように！

楽しく理学療法実践

かがやきの丘地域サロン「なごみ会」(浅野謙一代表)は6月6日、理学療法士の

神前裕子先生を招いて楽しく理学療法を実践しながら、話を聞きました。写真。

コージリーガーデンからの2人を加えた参加者10人は、早足歩き、座つての風船パレー、早口言葉、記憶力チェック等々楽しく体験したり、有意義な話を聞くこと

園周回道を、2周しました。参加者の中には推定90歳

を超える人も3人程、改めてノルディックウォーキングの素晴らしさを実感しました。帰りは薫風の「もみ

じの道」を散策し、雨が降らなかつた喜びを感じながら志津南市民センターに帰りました。

今後も8月を除いた毎月2回、頑張つて活動を継続して行きたいと思ひます。

ができました。先生からは「年齢の割には皆さんとても元気」との



評価をいただき、ほっとしました。

22日からラジオ体操

志津南小学校PTA(伊藤由希江会長)は恒例の夏休み期間中のラジオ体操を次の要領で開催します。

▽実施期間

7月22日(月)～8月23日(金)まで

ただし、土・日・祝及び8月13日から16日は休止します。

▽時間 午前7時30分

(雨天中止)▽場所 最寄りの児童公園、児童遊園、空き地など

地域によって、実施場所実施日が異なる場合があります。詳しくはPTA地域部の方にお尋ねください。

パソコンの駅

▽パソコンについての相談

▽7月25日(木) 8月24日(土) 13時～16時

▽志津南まちづくりセンター

1サロン

四足歩行の良さ実感

志津南ノルディッククラブ

「志津南ノルディッククラブ」(奥田隆三代表)は、6月1日特別企画として、初

夏「水生植物公園みずの森」周遊ウォーキングに出かけました。

当日は大変天候も良く、28人が参加し

ました。「くさつ健・交クラブ」の指導員

の方3人より、ノルディックウォーキン

グについて効力や注意事項を聞き、ポー



ウォーキングに出発するクラブ員

ルを利用した準備体操の後、「烏丸半島周回組と植物園内散策組に分かれウォーキングをしました。穏やかな風を受け、四足歩行の良さを

実感し、元気一杯歩きました。

6月2回目の定例日15日は、朝から怪しい空模様で

参加者が少ない中、準備体操の後15人で強行、「青山中央公園」東屋を目指してウォーキング、元気組は公

折々の記



「おーいカブトガニを見つけたぞ！」干潟の遠くでト

シがヨシキを呼ぶ声が聞こえてきたが、私は大きな石

を剥ぐつて「わたり蟹」と格闘中である。相手はかな

り大きなハサミを振り上げて威嚇している。後ろから

甲羅をおさえて素早く学校から持参の上履きの袋に押

し込み一丁上がりである。干潟の石を動かすとその下

の窪みの水溜りにわたり蟹

を探している。

遠い夏の日

形をしている)は捕つては

いけないが、背中にアカニシ(巻貝)を2、3個背負

っていることがあるので、それを目的にカブトガニを

探している。

時には道端に置いていた靴が無くなっていることがあった。親切な大人が学校

を伏せて尻尾を付けた様なカブトガニ(ヘルメット

に価値があったような気がする。現代ではテレビやインターネットの普及

で子供達も含めて人々の価値観が同一化に向かつてい

るようになっている。

時代や環境により物事の価値観は変わると思うが、同一化の方向ではなく、個性的な価値観を意識したほうがやはり世の中楽しいのではないだろうか。(A・F)